

# 漁海況情報

第476号 (平成24年2月15日)

TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379  
 ホームページ: //www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/

水産試験場「最上丸」と水産課「月峯」は2月6日に沿岸及びタラ場水温観測を実施しました。

- 沿岸水温  
表層～150m層と300m層は「平年並み」、200m層は平年より「かなり高め」となりました。
- タラ場水温  
200m層: 前年より0.4℃高く、平年より0.7℃高くなりました。吹浦沖が低い以外はほぼ一様でした。  
250m層: 前年より0.6℃高く、各沖ともほぼ一様でした。  
300m層(底層): 前年より0.1℃高く、平年より0.2℃高く、各沖ともほぼ一様でした。

沿岸25海里定点各層別の平均水温

単位:℃

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	9.9	10.3	10.2	10.1	8.9	2.0
前年差	-0.3	±0.0	-0.1	±0.0	+1.3	+0.1
平年差	+0.3	-0.1	+0.1	+0.8	+2.3	+0.3
評価	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	かなり高い	平年並み
(前月評価)	(かなり高い)	(かなり高い)	(はなはだ高い)	(平年並み)	(平年並み)	—

評価の表現: “平年並み”は約2年に1回、“やや”は約4年に1回、“かなり”は約10年に1回、“はなはだ”は約20年以上に1回の出現確率を表しています。

地先平均水温(1月)

単位:℃

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	7.0	-1.0	-1.5	かなり低い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	9.6	-0.4	-0.9	やや低い

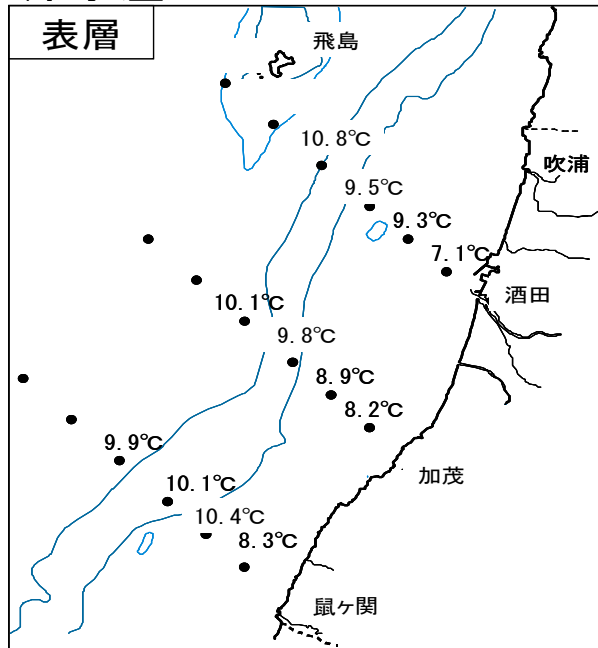
・地先水温: 水産試験場は「平年よりかなり低め」、栽培漁業センターはも「平年よりやや低め」の水温になっています。

## タラ場水温観測結果 (2012年2月6日月峯・最上丸 観測)

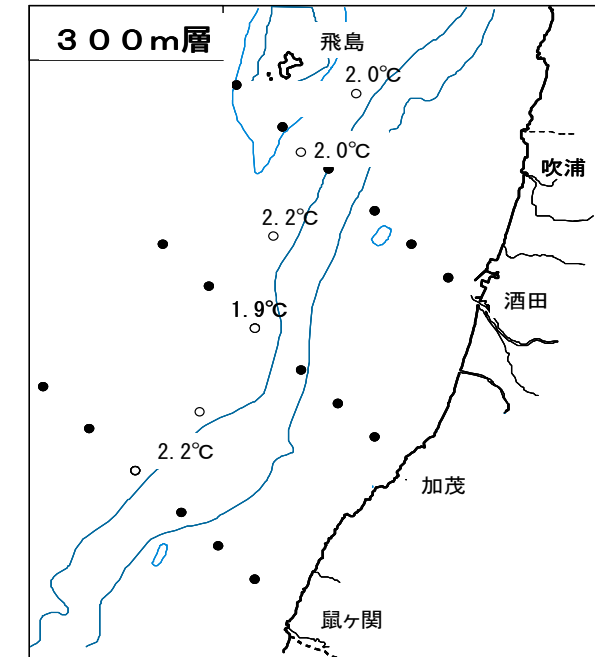
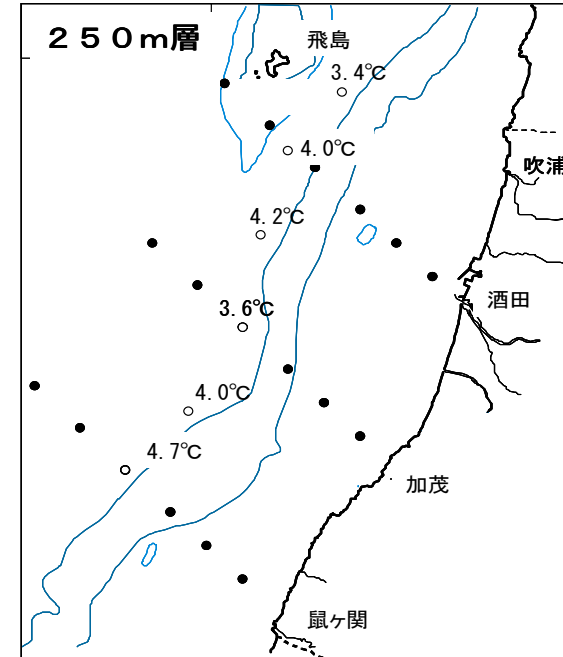
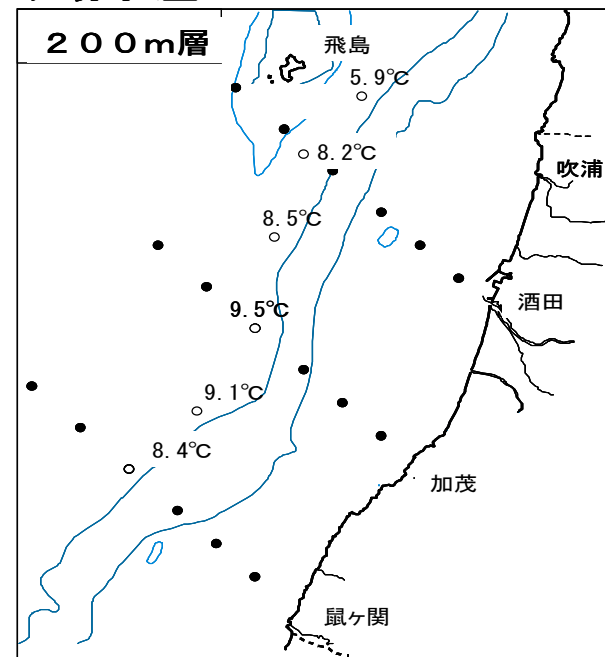
\*: 水温の単位℃、( )は昨年の値

漁場	緯度(北緯)	経度(東経)	ロラン(3局)	水深m	水温200m	水温250m	水温300m
鼠ヶ関沖	38° 42.3′	139° 17.2′	3064	308	8.4(7.7)	4.7(4.4)	2.2(2.1)
堅苔沢沖	38° 48.0′	139° 25.0′	2965	318	9.1(8.0)	4.0(3.8)	—(2.1)
加茂沖	38° 54.4′	139° 28.2′	2893	300	9.5(8.7)	3.6(3.6)	1.9(2.3)
浜中沖	39° 00.2′	139° 31.1′	2820	331	8.5(8.8)	4.2(3.5)	2.2(2.0)
酒田沖	39° 03.6′	139° 34.4′	2765	300	8.2(8.1)	4.0(3.3)	2.0(2.1)
吹浦沖	39° 10.4′	139° 37.3′	2680	320	5.9(5.9)	3.4(2.7)	2.0(1.5)
6地点の平均					8.3(7.9)	4.0(3.6)	2.1(2.0)
前年差					+0.4	+0.6	+0.1
平年					7.6	—	1.9
平年差					+0.7	—	+0.2

## 沿岸水温



## タラ場水温



# 1月の漁況

・延べ操業隻数は987隻で、時化の影響で前年比84%でした。総漁獲量は、313トンで前年比85%でした。  
 ・底びき網漁業の延べ操業隻数は252隻で前年比74%、漁獲量は133トンで前年比61%と、時化の影響で大幅に減少しました。ズワイガニは前年を上回りましたが、タイ類、ハタハタ、スケトウダラ、アンコウ、マダラ、タコ類等多くの魚種で前年を下回りました。  
 ・その他の漁業では、船凍いか釣漁業のスルメイカ、はえなわ漁業のタイ類、採貝藻漁業のアワビが前年を上回りましたが、はえなわ漁業のマダラとタコ類、採貝藻漁業のサザエ、ナマコが前年を下回りました。いか一本釣り漁業のスルメイカ(生スルメイカ)は、3年振りにまとまった水揚げがあり前年を尾上回りました。

\* 前年比は平成19～23年までの平均値と比較した値です。

## 全漁業支所別漁獲量

単位: 隻、kg

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	29	294	79	34	129	101	62	259	987	191%	84%
総漁獲量	15,753	19,149	161,054	13,400	33,137	9,019	3,315	58,060	312,886	64%	85%
前年比	90%	165%	47%	160%	106%	84%	516%	87%	64%		
前年比	62%	74%	109%	89%	84%	51%	202%	61%	85%		

## 底びき網漁業

単位: 隻、kg

支所	吹浦	酒田	加茂	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	18	40	3	52	26	113	252	149%	74%
タイ類	45	6,980		124	276	1,968	9,393	160%	66%
ヒラメ	182	195	67	232	562	1,372	2,610	226%	103%
カレイ類	548	841	148	2,597	1,099	2,991	8,224	213%	103%
ハタハタ	1,384	768		7,722	758	3,597	14,229	45%	55%
スケトウダラ	1,828	2,344		2,049	310	1,151	7,682	52%	54%
アンコウ	189	229	166	871	947	3,391	5,793	167%	68%
ズワイガニ	687	907		2,711	224	1,408	5,937	83%	155%
マダラ	8,152	12,353		8,632	1,816	7,550	38,503	54%	39%
アカエビ	406	383		735	134	16,011	17,669	260%	109%
タコ類	112	201	10	635	206	965	2,129	42%	39%
その他	740	2,945	24	2,230	1,941	13,257	21,137		
計	14,273	28,146	415	28,538	8,273	53,661	133,306	83%	61%
前年比	94%	70%	—	97%	79%	82%	83%		
前年比	63%	56%	44%	79%	49%	58%	61%		

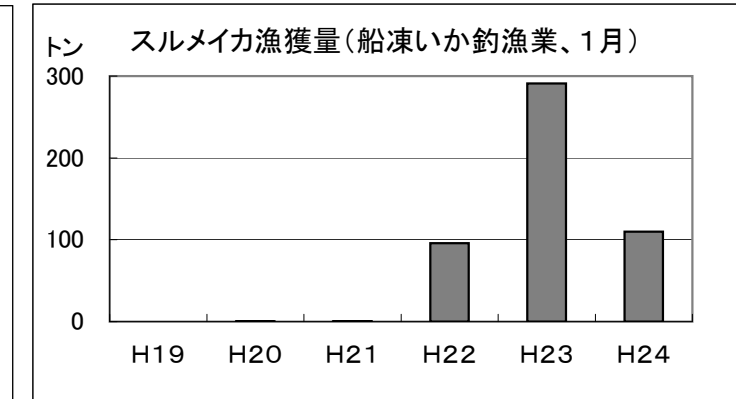
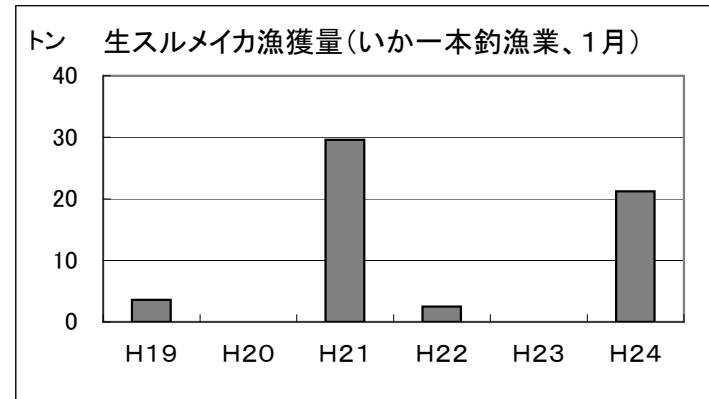
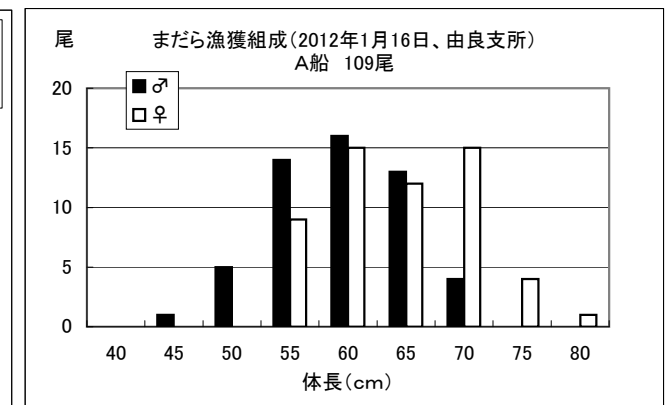
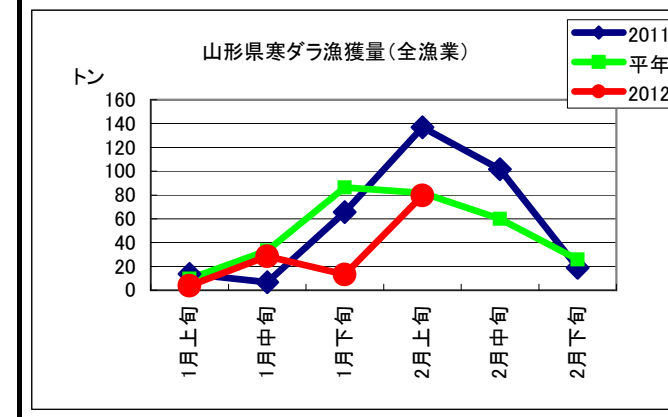
## その他の漁業

単位: 隻、kg

漁業種類	いか一本釣り漁業	船凍いか釣漁業	はえなわ漁業			採貝藻漁業		
			タイ類	マダラ	タコ類	アワビ	サザエ	ナマコ
延べ操業隻数	17	4	126			297		
対象魚種	スルメイカ	スルメイカ	タイ類	マダラ	タコ類	アワビ	サザエ	ナマコ
漁獲量	21,230	109,720	3,952	2,034	1,061	1,471	821	1,167
前年比	—	38%	659%	19%	100%	165%	112%	118%
前年比	293%	142%	175%	13%	36%	143%	60%	47%

## 寒ダラ漁獲状況(2月上旬まで)

・最盛期に入る1月下旬に時化により出漁日数が前年より少なく漁獲は伸び悩みましたが、2月上旬は出漁が増加し漁獲も回復してきました。1月上旬～2月上旬までの漁獲量の累計は125トン(前年比56%、過去10年前年比59%)となりました。  
 ・体長組成は、1月中旬の由良市場では、オスが55～65cm(2～5kg台)、メスが55～70cm(3～6kg台)の割合が多くなりました。



## 最上丸の調査予定(2月中旬～3月上旬)

### 海洋観測、底びき網調査

- ・底びき網調査(ハタハタ)を行います。
- ・ベニグリ調査を行います。
- ・海洋観測を行います。



みなさま、調査へのご協力よろしくお願いします。